



2021年4月1日

各位

会社名 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

代表者名 代表取締役社長 庵 栄伸

(コード番号 8377 東証第一部、札証)

次期共同利用システムに関する基本契約の締結について
～【銀行業界初】共同利用する基幹系システムでオープン基盤を採用～

株式会社ほくほくフィナンシャルグループの株式会社北陸銀行（代表取締役頭取 庵 栄伸）と株式会社北海道銀行（代表取締役頭取 笹原 晶博）は、株式会社コンコルディア・フィナンシャルグループの株式会社横浜銀行（代表取締役頭取 大矢 恭好）と株式会社東日本銀行（代表取締役頭取 大石 慶之）、株式会社七十七銀行（代表取締役頭取 小林 英文）、および株式会社NTTデータ（代表取締役社長 本間 洋）との間で、次期の共同利用システム（以下、「MEJAR（メジャー）」という）について、「オープン基盤」を採用することを合意し、2021年4月1日に基本契約を締結しましたので、お知らせします。

MEJARは、ITコストの低減などを目的に、2010年から稼働を開始した共同利用システムです。預金・為替・融資等の業務処理機能などを担う基幹系システムのほか、データの利活用などをおこなうシステム、ATM、インターネットバンキングなどについて5行で共同利用しています。

このたびの基本契約では、お客さまの多様化するニーズやデジタル化の進展に対応するため、さまざまなハードウェアやソフトウェアを環境の変化に応じて柔軟に選択できる「オープン基盤」の採用を合意しました。共同利用する基幹系システムのオープン化は銀行業界初の取り組みです。

これにより、将来的な機能の拡張性、最新技術の活用が可能になるとともに、運営コストの大幅な低減が実現できます。また、環境に配慮したグリーンITの導入により消費電力量を現行比20%低減することで、CO₂排出量の削減にも寄与することができます。

NTTデータは、今回取り組むオープン基盤を他共同利用システムなどへ順次適用すること、開発手法/運用手法をMEJARと標準化・共通化・自動化すること、および次なる先進的な取り組みとしてMEJARのクラウド適用も見据え検討していることから、5行はNTTデータと協力し取り組みを進めていく予定です。なお、次期共同利用システムへの移行は2024年を予定しています。

ほくほくフィナンシャルグループは、今後もシステム共同化によるサービス向上をはかるとともに、地域にとってなくてはならない金融グループとしてお客さまの豊かな人生、事業の発展に貢献してまいります。

以上

お問い合わせ先

ほくほくフィナンシャルグループ	企画グループ	石川	TEL : 076-423-7331
北陸銀行	広報 CSR グループ	真岩	TEL : 076-423-7111 (代)
北海道銀行	広報 CSR 室	小山	TEL : 011-233-1005

【ご参考】これまでの経緯

- 2005年11月：北陸銀行、北海道銀行、横浜銀行がシステム共同利用を検討する旨基本合意
- 2010年 1月：横浜銀行が先行して共同利用システムに移行（利用を開始）
- 2011年 5月：北陸銀行、北海道銀行が共同利用システムに移行（3行での利用を開始）
- 2016年 1月：七十七銀行が共同利用システムに移行（4行での利用を開始）
- 2019年 1月：東日本銀行が共同利用システムに移行（5行での利用を開始）
- 2019年 5月：次期共同利用システム利用を検討する旨基本合意
- 2021年 4月：次期共同利用システムにオープン基盤を採用する旨の基本契約を締結

以上